

保育士の確保と 居宅訪問型保育事業を進めよ

公明党議員団 木村 広一



①都の補助制度を活用し、保育士確保に苦慮している新設園を始め既存園への支援を行い、保育士確保を推進すべきでは。②障害児対象の在宅訪問保育事業の準備状況は。

区長 ①ハローワークと共催の就職説明会を増やすなど、あらゆる機会を通じて保育士の確保を進めていきたい。

②事業者とヒアリングを行うなど検討を行っている。

高齢者施策を推進せよ

①中野区版介護予防手帳を

導入してはどうか。②高齢者施設のトイレの洋式化を進めるべきではないか。

区長 ①今後考えていきたい。②引き続き洋式化に取り組みしていきたい。

中小規模公園を整備せよ

①球技ができるネットフェンスを中小規模の既存公園に整備すべきでは。②中野区ペットとの共生を考える懇談会から提言があったが、既存の中小規模公園でも犬の同行入園ができる整備を検討しては。

区長 ①公園の再整備の中で検討していきたい。②提言の趣旨を踏まえ同行入園等環境整備のあり方を検討する。

医療費適正化に向けた計画を策定せよ

国は、全ての健康保険組合が平成27年度からデータヘルス計画を実施するよう支援するとしているが、区として医療費適正化に向けた計画を策定すべきでは。

区長 中野区第二期特定健康診査等実施計画などの整合性を図るとともに、健診データや医療情報などを踏まえつつ策定を進めていきたい。

教育長 ②組織的な相談体制やサポート体制の整備が重要であり、専門的医療機関等についての情報提供に努める。

教育の課題について問う

①今年度よりスタートした「学習支援事業」に定員を超える応募があり、利用できなかったとの声を聞くが、事業を拡充すべきではないか。②性同一性障害にかかる児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について、学校での支援体制をどう推進するのか。

区長 ①より効果的な支援が行えるよう、拡充を含め検討していきたい。

教育長 ②組織的な相談体制やサポート体制の整備が重要であり、専門的医療機関等についての情報提供に努める。

区内駅周辺等の まちづくりを問う

自由民主党議員団 伊東 しんじ



①補助第220号線の早稲田通りから新青梅街道に至る区間について、区は事業化する意志があるのか。②同路線の位置付け、整備方針、整備スケジュールは。③関係権利者への補償内容について、広報を積極的に行うべきでは。

区長 ①補助第220号線の整備推進を含め、区内で必要な優先整備路線の選定について東京都と協議を進める。

②東京都の防災都市づくり推進計画において、一般延焼遮断帯として位置付けられている。整備については、三期に分けることを想定している。第一期は鉄道交差部の約90メートル部分を対象に、概ね平成33年度頃までの整備、第二期は鉄道南側から早稲田通りまでの区間とし、概ね平成30年度頃の事業化、第三期は鉄

道北側から新青梅街道までとし、概ね平成37年度頃の事業化を目指している。③関係権利者が安心して事業に協力いただけるよう、ホームページなど工夫しながら広報に努めていく。④沿道の不燃化・耐震化など、周辺地区の防災性の向上を図るため、地区計画の導入や不燃化促進事業等の手法を想定している。⑤まちづくりの進展や道路・鉄道等の整備の状況、さらには少子高齢化等の社会状況の変化を踏まえ、道路及び交通の体系的なあり方並びに必要な対策について検討していきたい。

子ども・子育てに 寄り添う区政を

日本共産党議員団 広川 まよのり



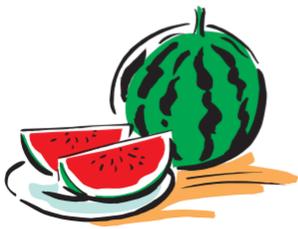
子どもの貧困問題が深刻化している中で、自治体独自の努力が求められている。①就学援助基準の引き下げで、200人程が援助を受けられなくなる。区は援助打ち切りに対し経過措置を行っているが、貧困の深刻化が進む中で経過措置を継続すべきでは。②足立区は子どもの貧困対策に取り組み専門の部署を設け支援や実態調査等に取り組む。中野区でも設けるべきでは。③寡婦(夫)控除のみなし適用はいつから実施となるのか。

子ども施策の拡充を

区長 ①3歳になり保育施設を利用できなくなる「3歳の壁」を生まないための対策に早急に取り組むべきでは。②今後、児童館11館を廃止する計画だが、乳幼児親子の貴重な居場所、子ども達にとってはキッズプラザでは担えない役割を果たす児童館をこれ以上廃止すべきではないのでは。③学

区長 ①区が連携施設の確保に向け調整を進めている。②乳幼児親子の居場所は、地域子育て支援拠点事業として整備を進め、児童館はキッズプラザの小学校内への開設にあわせ順次廃止することとしている。③学童保育ニーズに対応するには民設学童クラブの設置は不可欠であると考えている。

区長 ①区が連携施設の確保に向け調整を進めている。②乳幼児親子の居場所は、地域子育て支援拠点事業として整備を進め、児童館はキッズプラザの小学校内への開設にあわせ順次廃止することとしている。③学童保育ニーズに対応するには民設学童クラブの設置は不可欠であると考えている。



災害時における妊産婦に配慮 した支援策の充実・強化を

民主党議員団 中村 延子



区は、災害時要援護者として妊産婦をあげているが、対策が十分にとられているとは言いがたい。妊産婦は、災害弱者の中でも特に災害による影響を受けやすくリスクも高い。医療との連携が早期に必要な存在であるという認識に立った対応が必要であると考えているが、区の見解は。

がん検診受診率の向上を

区長 中野区医師会を中心とした医療救護班を編成し、助産看護を含む医療救護活動を行う。さらに、避難住民の健康状態の把握に努めるとともに、精神的動揺等に対するケアとして、巡回精神相談チームを編成する。

がんの早期発見、早期治療のためには、がん検診の受診率の向上が非常に重要である。区が平成26年度から始めた子宮頸がん検診の未受診者に対する受診勧奨は、受診率の向上に大きく貢献したと考えられる。引き続き精度の高いがん検診を行うべく、現在、国ががん検診の対象年齢の見直し等、がん検診の実施方法について検討を行っている。その動向を注視しつつ、他のがん検診

がんの早期発見、早期治療のためには、がん検診の受診率の向上が非常に重要である。区が平成26年度から始めた子宮頸がん検診の未受診者に対する受診勧奨は、受診率の向上に大きく貢献したと考えられる。引き続き精度の高いがん検診を行うべく、現在、国ががん検診の対象年齢の見直し等、がん検診の実施方法について検討を行っている。その動向を注視しつつ、他のがん検診

発がんリスクを高めるたばこの煙から子どもたちを守れ

年齢が低いほど血清ニコチン濃度は高くなる傾向があり、子どもは成人よりも高度に環境たばこの煙にさらされている。子どもたちが利用する公園などに関しては、禁煙にすべきと考えるが、区の見解は。

区長 公園利用者の年齢や利用目的は多岐に渡っていることから、現在、区立公園を禁煙とはしておらず、現状では喫煙をする方のマナーによっているところである。

中野区議会は、虚礼等の 廃止を決議しています

贈らない 求めない 受け取らない

《虚礼等廃止の主な事項》

- 時候の挨拶状の送付
- 中元、歳暮等の贈答
- 慶事、弔事についての廃止事項
 - ① 祝儀、香典、供花の贈与
 - ② 祝電、弔電等の発送
- 病気等の見舞いにおける金品等の贈与
- 新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
- 各種行事、各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等

区議会だよりへの意見、ご要望などは、区議会事務局まで

TEL 04-8500-1 中野区中野4-8-1
電話 0480-15000 FAX 0480-15000
Eメール kugikaijimu@city.tokyo-nakanokai.jp

区議会各会派のEメールアドレス

- 自由民主党議員団 jimintou.nakanokugikai@mbn.nifty.com
- 公明党議員団 kugidan@nakano-komei.net
- 日本共産党議員団 jcp.nakanokugidan@mbn.nifty.com
- 民主党議員団 n.minshu@mbr.nifty.com